公益財団法人　神奈川県予防医学協会の沿革

年	協　会　の　動　き	検診・検査の動き
昭和 30年	1月24日　横浜市南区中村町の県衛生研究所の一隅を借り**神奈川県寄生虫予防協会が任意団体として発足**。全国では10団体が活動 9月17日　日本寄生虫予防会設立, 支部となる	1月　寄生虫検査を開始
32年	4月　寄生虫保卵率を下げる“10%運動”提唱 9月　検査室, 事務所を金沢区の青木医院（当時の理事長宅）へ移す	
33年	11月　第1回県寄生虫予防大会を県, 横浜市, 国保連, 町村会と共催	
34年	1月　“オーミン号”で農村各地区巡回ＰＲ。寄生虫予防を訴え講演会, 映画会を開催。学校集団検査の自治体予算化がすすむ 8月　横浜市南(現在は港南)区上大岡町に検査所を新築, 事務所とともに移転 11月　第2回寄生虫予防大会を開催	9月　胃がんのスクリーニングテストとして便潜血反応検査を開始
35年	11月　県“衛生まつり”を開催。以後, 県寄生虫予防大会はこれへ合流	
36年	5月　協会の財団法人認可 8月　第6回寄生虫予防全国大会を箱根で主催	
37年	8月　湘南内陸部農村地域の鉤虫実態調査を基礎に協会は独自で県, 市に陳情。翌年予算化	7月　腸内細菌検査を開始
38年	6月　胃がん検診を主体とする中央診療所を中区長者町に開設 12月　胃集団検車「長寿1号」完成	6月　消化器検診を開始 10月　学童腎臓病検診を開始
39年	3月　事務所を横浜市中区長者町へ移転 **3月25日　財団法人神奈川県予防医学協会設立**	7月　血清反応検査を開始
40年	9月　日本対ガン協会神奈川県支部になる	9月　貧血検査を開始
41年	12月　財団法人予防医学事業中央会設立, 支部になる	4月　学童心臓検診を開始 4月　定期健康診断を開始 4月　特殊健康診断を開始
42年	10月　横浜市中区住吉町「松村ビル」に事務所, 診療所を移転	9月　作業環境調査を開始
43年	10月　小田原市で第1回ガン征圧全国大会を実施	4月　学童糖尿病検診を開始
44年	1月　第2回全国検査室会議を箱根で主催。以後6回, 神奈川で主催 4月　「肺がん予防の公衆衛生学的研究」3年計画でスタート（川崎市と共同, 日本対ガン協会補助） 10月　全国労働衛生検診機関連合会（後の全国労働衛生団体連合会）設立	1月　検診車による子宮がん検診を開始 2月　精密総合検診（人間ドック）を開始 5月　施設での子宮がん検診を開始 11月　郵送スメアによる子宮がん検診を開始（県産婦人科医会との協力事業）
45年	8月6日　財団法人神奈川県寄生虫予防協会解散, 予防医学協会に合併	
46年		3月　横浜市に協力し公害病認定のための検診を実施
47年	4月　集団検診センター, 横浜市金沢区鳥浜町に開所 10月　登録衛生検査所として県知事から認可される	
48年	8月　箱根で「第4回予防医学推進・第17回寄生虫予防全国大会」を主催	4月　保健相談を開始 4月　水質検査開始 11月　肺がん検診を開始 婦人検診を開始
49年	7月　協会に「神奈川労働衛生コンサルテーションセンター」開所	
51年	3月　作業環境測定機関として認可される	7月　「神奈川から肺と胃がんをなくす会」(後のACクラブ）の会員制検診を開始 11月　先天性代謝異常症の検査開始
52年	6月　集団検診センター別館新築 9月　労働衛生コンサルタント懇話会発足　協会内に事務局 10月　高血圧性疾患予防友の会「こうゆう会」設立総会　協会内に事務局	4月　子宮体がん検診を開始 5月　地域での乳がん検診を開始 6月　施設での乳がん検診を開始 6月　施設での腎臓病精密検診を開始 7月　地域での肺がん検診を開始
54年	2月　簡易専用水道の指定検査機関となる	8月　簡易専用水道検査を開始
55年	1月　水質検査の指定検査機関となる 2月　事務局, 診療所を横浜市中区日本大通に移転, 健康教育センターを設置 9月　予防医学推進全国大会を主催	
57年		3月　大腸がん検診を開始 10月　神経芽細胞腫検査を開始
58年	汎用コンピュータ導入, 日本大通ビル3階西側を全面改装のうえコンピュータ室拡充整備	

年	協　会　の　動　き	検診・検査の動き
昭和		
59年	東日本がん征圧大会（桜木町）を主催	
63年		4月　副腎過形成スクリーニングを開始
平成		
元年	10月　労働安全衛生法改正に伴う検診・検査受け入れ体制の確立	5月　健康づくりプログラムを開始
2年	10月　第42回保健文化賞（団体賞）を受賞	9月　運動機能測定(THP)を開始
3年	4月　新コンピュータシステム「MEDIX KANAGAWA」を稼働	
4年	4月　集団検診センター新館竣工。完全週休2日制の導入	4月　腹部超音波検診を開始
	10月　集団検診センター本館・別館の改修	
6年	5月　関内施設の改修	
	10月　政府管掌健康保険の成人病予防健診指定機関の認定を受ける	
	12月　中央診療所が自動化健診優良施設の認定を受ける	
7年	1月　創立40周年を迎え，2月から記念事業を展開	4月　骨粗鬆症予防検査を開始
8年	3月　日本大通ビル7階北側を全面改修のうえ高速螺旋CTを導入設置	4月　高速螺旋CTによる肺がん検診を開始
10年	4月　一日人間ドックが健診システムを再構築し稼働	4月　前立腺がん検診を開始
11年	10月　労働衛生機関評価制度の認定機関となる	
12年	11月　労災保険指定医療機関認定	
13年	10月10日　川崎支所開設	
	12月　マンモグラフィ検診施設画像認定機関となる	
14年	7月　「健康ライフ倶楽部（会員制健康管理）」発足	8月　肺がん読影受託（厚木市基本健診）
	12月　マンモグラフィ検診車「すこやか号」宝くじ協会から補助	10月　ライフサポート・クリニック開始
15年	3月　メンタルヘルス「事例検討会」発足	6月　シックスクール測定を開始
		8月　神経芽細胞腫検査が休止される
		11月　血圧脈波検査開始（人間ドック）
17年	1月　創立50周年を迎えた	
18年	3月　「ISO9001認証（水質・簡易専用水道検査）」取得	
	3月　集団検診センター4階部分コンピュータシステム室・情報処理室に全面改修	
	9月　プライバシーマーク許諾書取得	
20年	2月　人間ドック・健診施設機能評価の認定施設となる	4月　特定健診・特定保健指導開始
	3月　「ISO9001認証（作業環境調査）」取得	11月　タンデムマスパイロットスタディ検査を開始
22年	4月　予防医療部門の新設，個人受診者のトータルな健康支援を充実	4月　ヒトパピローマ（HPV）検査を事業化
23年	2月　集団検診センター別館の耐震工事	
	4月　「あなたの相談室」を開設	
	10月　第56回予防医学事業推進全国大会を主催	10月　行政検査としてタンデムマス・スクリーニングを開始
24年	4月　公益財団法人の認定を受ける	
25年	4月　がん予防医療部を設置　予防医療部門の強化・充実をはかる	
26年	3月　集団検診センター本館の耐震・省エネ改修工事完了	